

## 県内の外国人登録者数 49,304 人に増加

### 外国人登録者数調査（平成18年12月31日現在）の結果

三重県では、法務省の「在留外国人統計」調査に合わせて、年一回、市町の協力を得て外国人登録者数調査を実施しています。調査結果の概要は以下のとおりです。詳細は別添資料をご参照ください。

#### 1. 調査結果概要

- ・平成18年末現在の三重県内の外国人登録者数は、49,304人（前年比1,753人、3.7%増）でした。
- ・外国人登録者数は最近5年間で13,780人増加し、10年間で約2.06倍、平成元年の約4.7倍となっています。
- ・県内総人口に占める外国人の比率は、平成15年初めて2%を越えましたが、平成18年はさらに増加し過去最高の2.58%となりました（平成17年末現在2.48%：全国第3位「法務省 在留外国人統計」）
- ・国籍別の登録者数では、ブラジルが20,801人で最も多く、増加率0.7%、増加数142人ですが、例年に比べ増加規模が縮小しました（平成17年末増加率：8.2%）。2位の中国は7,891人で、前年比20.3%の増加となり、増加率の高さが目立っています。全体としては、上位5カ国で登録者数の87.4%を占める一方、登録者の出身国籍の数は99カ国（前年比3カ国増）で多国籍化が進んでいます。
- ・市町別に見ると、外国人登録者数が最も多いのは鈴鹿市（9,520人、人口比4.72%）で、次いで四日市市（9,202人、同2.95%）、津市（8,535人、同2.91%）でした。外国人比率は、木曽岬町（4.90%）が最も高く、次いで伊賀市（4.78%）、鈴鹿市（4.72%）でした。

#### 2. 国籍別内訳

順位	国籍	登録者数	構成比	増減数	増減率
1	ブラジル	20,801人	42.2%	142人	0.7%
2	中国	7,891人	16.0%	1,329人	20.3%
3	韓国又は朝鮮	6,363人	12.9%	-48人	-0.7%
4	フィリピン	4,414人	9.0%	165人	3.9%
5	ペルー	3,593人	7.3%	161人	4.7%
6	ボリビア	1,188人	2.4%	88人	8.0%
	その他	5,054人	10.2%	-84人	-1.6%
	三重県計	49,304人	100.0%	1,753人	3.7%

## 資料編：三重県内の外国人の状況について

平成 18 年 12 月末現在の三重県の外国人登録者数は、49,304 人（前年比 3.7% 増）で過去最高を更新し、県内総人口に占める外国人の比率は、2.58% になりました（前年 2.48%：全国第 3 位）。外国人登録者数は、最近の 5 年間で 13,780 人増加し、10 年前（平成 8 年：23,926 人）の約 2.06 倍、出入国管理及び難民認定法（以下「入管法」という。）が改正される前の 17 年前（平成元年：10,441 人）の約 4.7 倍となっています。一方、県内の日本人人口は平成 16 年以来 2 年連続で減少しており、外国人の増加が無ければ三重県の人口は減少していることとなります。

### 1. 国籍別内訳

本県の外国人登録者数を国籍別にみると、ブラジルが 20,801 人で全体の 42.2% を占め、以下中国、韓国又は朝鮮、フィリピン、ペルーと続いており、上位 5 カ国で 87.4% を占めます。また、登録者の国籍の数は平成 17 年末に比べ 3 カ国増の 99 国に及びました。

ブラジルは、平成 2 年の入管法の改正以来毎年増加を続け、平成 18 年末には対前年比 0.7% 増の 20,801 人となっています。

中国は、平成 2 年から増え続け前年末は韓国又は朝鮮を抜いて第 2 位に転じました。平成 18 年末には前年比 20.3% 増の 7,891 人と、前年（24.5% 増）に引き続き大幅に増加しています。

韓国又は朝鮮は、平成 2 年の 8,332 人を境に減少を続け、平成 18 年末には前年比 0.7% 減の 6,363 人となりました。

フィリピンは、平成 8 年以降 11 年間増加を続けており、前年末には大幅に増加（16.6% 増）したものの、平成 18 年末は前年比 3.9% の増で 4,414 人となっており、増加率は縮小しました。

その他インドネシアは、前年第 8 位でしたが、平成 18 年末には前年比 4.2% 増の 947 人となり、ベトナムを抜いて第 7 位となりました。

順位	国籍	登録者数	構成比	増減数	増減率
1	ブラジル	20,801人	42.2%	142人	0.7%
2	中国	7,891人	16.0%	1,329人	20.3%
3	韓国又は朝鮮	6,363人	12.9%	-48人	-0.7%
4	フィリピン	4,414人	9.0%	165人	3.9%
5	ペルー	3,593人	7.3%	161人	4.7%
6	ポリビア	1,188人	2.4%	88人	8.0%
7	インドネシア	947人	1.9%	38人	4.2%
8	ベトナム	921人	1.9%	-90人	-8.9%
9	タイ	897人	1.8%	64人	7.7%
10	米国	345人	0.7%	7人	2.1%
	その他	1,944人	3.9%	-103人	-5.0%
	三重県計	49,304人	100.0%	1,753人	3.7%

朝鮮とは、朝鮮半島出身者をいう。中国には、台湾出身者を含む。

国籍別登録者数上位5カ国の登録者数が多い市町は次のとおりです。( )内の数値は、三重県内の同国籍の登録者数全体に占める割合です。

国 籍	第1位	第2位	第3位
ブラジル 20,801人	鈴鹿市 4,794人 (23.0%)	四日市市 3,842人 (18.5%)	津市 3,682人 (17.7%)
中国 7,891人	津市 1,479人 (18.7%)	四日市市 1,114人 (14.1%)	伊賀市 902人 (11.4%)
韓国又は朝鮮 6,363人	四日市市 2,170人 (34.1%)	桑名市 1,037人 (16.3%)	鈴鹿市 694人 (10.9%)
フィリピン 4,414人	松阪市 1,135人 (25.7%)	津市 862人 (19.5%)	四日市市 622人 (14.1%)
ペルー 3,593人	鈴鹿市 1,555人 (43.3%)	四日市市 507人 (14.1%)	伊賀市 426人 (11.9%)

## 2. 市町別内訳

市町別登録者数の上位10市町は以下のとおりです。上位7市町で登録者全体の84.4%を占めています。前年とはほぼ同順位であり大きな変動はないようです。上位10市町の増減率については、前年より軒並み縮小している傾向があります。

順位	市町村名	登録者数	構成比	増減数	増減率
1	鈴鹿市	9,520人	19.3%	426人	4.7%
2	四日市市	9,202人	18.7%	174人	1.9%
3	津市	8,535人	17.3%	292人	3.5%
4	伊賀市	4,922人	10.0%	216人	4.6%
5	松阪市	3,704人	7.5%	158人	4.5%
6	桑名市	3,604人	7.3%	231人	6.8%
7	亀山市	2,133人	4.3%	-61人	-2.8%
8	伊勢市	1,423人	2.9%	44人	3.2%
9	いなべ市	1,170人	2.4%	72人	6.6%
10	菰野町	736人	1.5%	59人	8.7%

津市・多気町・紀宝町・大台町は平成18年12月31日時点では合併後であるため、増減数・増減率は合併前の旧町村分も含めてあります。

登録者数上位5市町における登録者数の多い国籍は、次のとおりです。( )内の数値は、同市町内登録者数全体に占める割合です。

市町村名	第1位	第2位	第3位
鈴鹿市 9,520人	ブラジル 4,794人 (50.4%)	ペルー 1,555人 (16.3%)	中国 838人 (8.8%)
四日市市 9,202人	ブラジル 3,842人 (41.8%)	韓国又は朝鮮 2,170人 (23.6%)	中国 1,114人 (12.1%)
津市 8,535人	ブラジル 3,682人 (43.1%)	中国 1,479人 (17.3%)	フィリピン 862人 (10.1%)
伊賀市 4,922人	ブラジル 2,739人 (55.6%)	中国 902人 (18.3%)	ペルー 426人 (8.7%)
松阪市 3,704人	ブラジル 1,317人 (35.6%)	フィリピン 1,135人 (30.6%)	中国 575人 (15.5%)

### 3. 市町別外国人登録者数の割合

総人口に占める外国人登録者数の割合が多い上位10市町は、次のとおりです。三重県全体での外国人比率は、前年(2.49%)より0.09%さらに増加し、また市町別では、前年7位の津市が合併により外国人の割合が0.48%減少したことに伴い、四日市市が津市を抜いて前年の8位から5位になりました。

順位	市町	外国人の割合	外国人登録者数	日本人の人口
1	木曽岬町	4.90%	346人	6,712人
2	伊賀市	4.78%	4,922人	97,981人
3	鈴鹿市	4.72%	9,520人	192,307人
4	亀山市	4.35%	2,133人	46,941人
5	四日市市	2.95%	9,202人	303,131人
6	津市	2.91%	8,535人	284,354人
7	川越町	2.64%	350人	12,893人
8	桑名市	2.56%	3,604人	137,303人
9	いなべ市	2.51%	1,170人	45,458人
10	東員町	2.51%	658人	25,584人
三重県計		2.58%	49,304人	1,860,775人

日本人の人口については、平成18年12月31日現在の住民基本台帳の人口です。

### 4. 外国人登録者数の推移

過去の外国人登録者数の推移は次のとおりです。指数は入管法の改正以前の平成元年を100として計算しています。国籍別の構成を平成元年との比較で見ると、平成2年の入管法の改正( )後、劇的な変化が起こっているのがよく分かります。

#### ( )【参考】入管法の改正

平成元年に成立、翌平成2年(1990年)に施行された「出入国管理及び難民認定法」の改正で、3世までの日系外国人について活動に制限を設けない「定住者」という在留資格を新設するなど従来の在留資格を大幅に拡充する等の改正が行われた。

年	外国人登録者総数(人)	対前年増減率(%)	指数
平成元年	10,441人	-	100
平成5年	18,688人	3.9%	179
平成6年	19,313人	3.3%	185
平成7年	20,566人	6.5%	197
平成8年	23,926人	16.3%	229
平成9年	26,856人	12.2%	257
平成10年	28,203人	5.0%	270
平成11年	29,199人	3.5%	280
平成12年	32,457人	11.2%	311
平成13年	35,524人	9.4%	340
平成14年	36,988人	4.1%	354
平成15年	39,838人	7.7%	382
平成16年	43,621人	9.5%	418
平成17年	47,551人	9.0%	455
平成18年	49,304人	3.7%	472

年	登録者総数	ブラジル	韓国又は朝鮮	中国	ペルー	フィリピン
平成元年	10,441	521	8,256	581	83	459
平成5年	18,688	6,320	8,151	1,257	888	748
平成6年	19,313	6,504	8,025	1,293	1,025	918
平成7年	20,566	7,616	7,899	1,357	1,171	839
平成8年	23,926	10,259	7,702	1,476	1,430	966
平成9年	26,856	12,516	7,625	1,641	1,565	1,059
平成10年	28,203	13,248	7,492	1,748	1,671	1,157
平成11年	29,199	13,611	7,352	2,042	1,788	1,322
平成12年	32,457	15,574	7,182	2,425	2,057	1,635
平成13年	35,524	16,882	7,086	2,884	2,440	1,967
平成14年	36,988	17,064	6,933	3,413	2,630	2,202
平成15年	39,838	17,984	6,681	4,167	2,855	2,726
平成16年	43,621	19,095	6,602	5,270	3,112	3,645
平成17年	47,551	20,659	6,411	6,562	3,432	4,249
平成18年	49,304	20,801	6,363	7,891	3,593	4,414

外国人登録者数の推移

